

# 清水寺境内と札打ち巡拝路の御案内

出雲・伯耆地方には、身内の不幸があると葬儀の後に、故人の戒名をお札に書き地藏（清水寺では観音様）に貼って回るといふ風習があります。札所めぐり・巡礼の簡易版といったところです。

亡くなられた方は49日の間7度の裁判を受けるといひます。生きてゐるものが徳行を積むことによって、亡くなられた方が逝った世界で幸になつて欲しいという気持ちから札打ちが始まったそうです。

清水寺では札打ち道に三十三の観音様が、現在では観音様横の納札箱に札を入れていただくようになっております。

札打ちの後は休憩もかねて境内の食事処で精進料理をご賞味いただき、おかつろぎ下さい。境内の売店では、お土産に名物の清水羊羹をどうぞ。

石段の数は、最初の6段を上り、川沿いに大門までが108段あります。また、三重の塔までは333段となっております。三重の塔は安政6年（1859年）三十三ヶ年の歳月をかけて完成し、基礎から相輪の先端までの高さは33.3メートルあります。



**展望台**  
展望台に出ると見晴らしも良く、天気の良い日には中海から大山まで一望でき、一休みといったところです。展望台からは、二十七番から三十二番まで次は仁王門に向かつての下り坂です。

**三重塔**  
三重の塔から一番が始まり山道を歩き展望台に向けてのぼります。

**蓮葉院**  
(庭園と茶室)

**大門**  
岩不動

仁王門からは境内に入り、根本堂うらての鐘樓堂横に最後の三十三番のお地藏様があります。

**現在地**  
あじさい 駐車場  
ゆう心  
大門 駐車場

犬ばさら 駐車場

- 現在地から根本堂まで徒歩 約10分
- 現在地から三重の塔まで徒歩 約12分
- 一番(三重の塔)から三十三番までの所要時間1~1.5時間